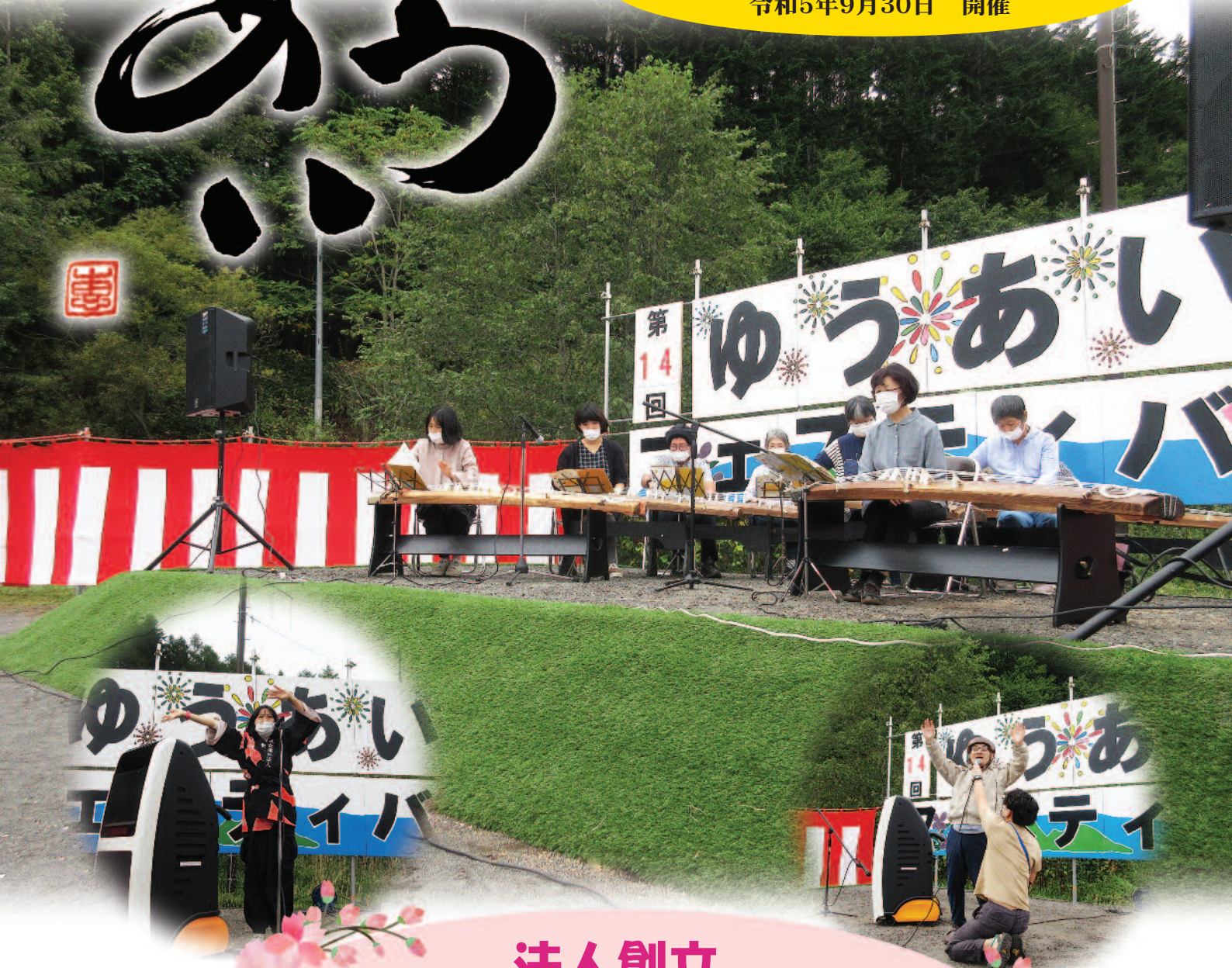


令和5年12月15日発行
138号

第14回ゆうあいフェスティバル
令和5年9月30日 開催



法人創立
40周年記念号

法人40周年を迎えて

社会福祉法人あぶた福祉会

理事長 夏 目 興 市

社会福祉法人あぶた福祉会が創立40周年を迎えて、日頃からご支援ご協力を頂いております皆様に心から感謝申し上げます。

30年のあゆみによると昭和58年4月1日開設となっており、開設に深く関わった故鈴木昭様をはじめ多くの町民の皆さんのなみなみならない努力や熱意とその後の開設時の大きな喜び感動が伝わって胸が熱くなってきました。

あぶた福祉会の開設に当たられた皆さんたちの思いに応えるべくこの先50年60年…と続く当法人の施設・事業所が「利用者の住みよい我が家・働きやすい職場」となるように努める覚悟です。

さて、ここで施設開設以前の知的障害児（者）について触れておきたいと思います。

昭和30年代には胆振・日高管内のどの小学校にも知的障害児を受け入れる支援学級（当時は特殊学級）がなく、学校に入学できても学習にはついていけずお客さんで障害の重い子どもは就学猶予・免除となり小学校に入学できなかったのです。

昭和37年に管内ではじめて虻田小学校に特殊学級が開設されました。開設には7名以上の対象児童が在籍することが条件でした。翌38年には在籍児童が15名を超えて2学級編成となりました。そのため「虻田にはそんなにも多くの知的障害児がいるの？」との声も聞かれたほどでした。

虻田小学校に特殊学級が開設されたことで「障害のある子供も入学できる」と特殊学級のある虻田町に転勤を希望・家族で転入された方も居られました。その上近接の市町村から入学の依頼もあり保護者が送迎することで入学を認めたため、多い時には24名の児童が在籍することになったのです。

父母との懇談では「子どもより一日でも長生きをしたい」「子供たちが安全な環境で安心して暮らせる場が欲しい」など切実な話や授産施設の必要性を訴える声が出始めて、将来の授産施設の開設の足しにと積み立ても始めたのです。

昭和45年には伊達市に太陽の国が開設され虻田小学校の養護学級（開設当初の特殊学級から養護学級に学級名を変更）の児童7割が太陽の園へ転出し、その後5年ほどで虻田小学校の養護学級には在籍児童が一人もいなくなり学級は閉設しました。

現在は障害のある児童が一人か二人でも、また障害別にそれぞれが支援学級として認められ障害に対応した教育が受けられる良い時代になりました。

最後になりますが、洞爺湖町には幼児から高齢者まで多くの方が生活しており、最近では外国の方もおられ、その中には健康な人ばかりでなく病気のある人や障害のある人等いろいろな人がおります。ここ洞爺湖町に暮らす全ての方がお互いを認め合い誰もが安全な環境で安心して暮らせる地域になるよう願うと共に創立から今日まで支えて頂いた町民を始め関係の皆様に改めて敬意を表すとともに、今後とも引き続き「あぶた福祉会」に対してご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ創立40周年にあたっての挨拶とさせていただきます。

主な あゆみ (H24.6~R5.9)

- H24. 6. 1 「指定特定相談支援事業」開始
- H24. 7.14 社会福祉法人 あぶた福祉会 創立30周年記念 式典・祝賀会
(ザ・ウインザーホテル洞爺)
- H25.12. 1 「虐待防止委員会」設置
- H27. 2 友愛の里相談支援センター車両購入 (ホンダNワゴン) 《(公財) 日本財団》
- H28. 4. 1 「洞爺湖町相談支援事業」受託運営開始
- H28. 2 清水友愛の里車両購入 (ホンダステップワゴン)
《(公財) 日本財団》
- H28. 9.24 第10回ゆうあいフェスティバル
- H28.10. 1 三代目理事長 夏目 與市 就任
- H29. 2. 8 「評議員選任・解任委員会」設置
- H29. 7.14 清水友愛の里防犯設備設置工事完了
《社会福祉施設等施設整備費国庫補助金》
- H29. 2 清水友愛の里マイクロバス購入 (三菱ローザ)
《(公財) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業》
- H30. 9. 3 共同生活住居及び地域生活拠点施設整備計画における
建設用地取得
- H30.11. 1 「日中一時支援事業」(洞爺湖町指定登録) 運営開始
- R1. 12. 1 共同生活住居「れいわの家」・「たかさごの家」・「いちょうの家」新築・事業開始
- R2. 2 清水友愛の里車両購入 (トヨタハイエース)
《(公財) 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業》
- R3. 3 地域生活支援拠点施設特殊浴槽購入
(ライラックプラス) 《(社福) 清水基金》
- R3. 4. 1 地域生活支援拠点施設「さぽーとステーションゆうあい」開設
・「デイセンター憩いの丘」(清水友愛の里の従たる事業所として新設)
・法人事務センター
・地域サポートセンターふれんど
・友愛の里相談支援センター
・洞爺湖町地域活動支援センター
・洞爺湖町健康増進事業の一部受託
- R3. 9 あすなろ製パン機器購入
(全自動ドウコンデショナー) 《(公財) ヤマト福祉財団》
- R4. 4. 1 「身体拘束適正化検討委員会」設置
- R4. 8.15 さぽーとステーションゆうあい多目的広場整備事業完了
- R5. 9.30 第14回ゆうあいフェスティバル
(創立40周年 記念)



創立30周年記念式典



第10回ゆうあいフェスティバル



共同生活住居



特殊浴槽



さぽーとステーションゆうあい



洞爺湖町健康増進事業



多目的広場



第14回ゆうあいフェスティバル

● 清水友愛の里より

～合同焼肉～

6月23日、友愛の里にて憩いの丘との合同焼肉行事を行いました。当日はあいにくの天気の為、室内での開催となりましたが、炭で焼いた出来立ての焼肉をみなさん美味しそうに食べていました。食後には的当てレクを行い、大勢で夢中になっていました。



～合同流しそうめん～

7月26日、友愛の里にて憩いの丘との合同流しそうめん行事を行いました。昼食は飲食店から取り寄せたお弁当を食べ、一休みしたところで屋外レクスタート！流しそうめん、すいか割りゲーム、紐くじ引き、水遊びなどみなさん楽しんでいました。流しそうめんは道外から取り寄せた本物の竹で出来たものです。天気にも恵まれ、良い1日となりました。



～夏期残留行事～



8月13日、夏期残留行事を行いました。主に帰省出来ない方が参加する行事です。当日友愛の里にいる方は全員参加となりましたが、あいにくの雨天となりました。甲子園を応援しながら、のんびりと焼き鳥や焼マシュマロを食べるなどして過ごしました。

その他にも虻田神社の祭典へ久しぶりに行きました。



～ハロウィン～

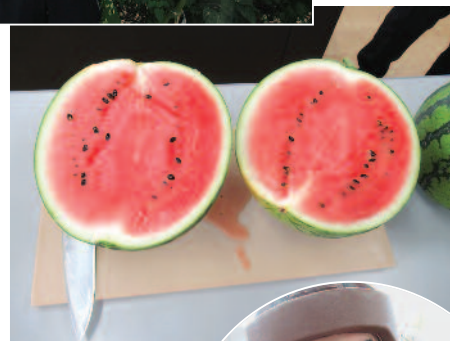
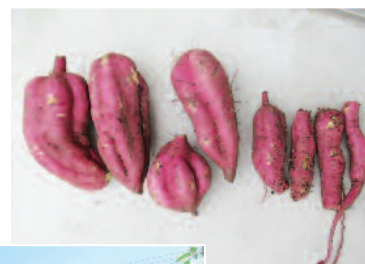
10月29日、ハロウィン行事を行いました。午前中から皆さん好きなコスチュームを選び、特に女性の方は「お化粧して」「派手にしてほしい」など普段しないメイクを希望する方が大勢いました。昼食時間になると男女が食堂に集まり、それぞれのコスチューム姿を見て盛り上がっていました。昼食後は間違い探しゲーム、ホラーマン競争などを行いました。



憩いの丘より

～野菜・果物の収穫～

春先に苗植えした野菜や果物を収穫しました。今年は、沢山の種類の野菜や果物を植えましたが、猛暑の影響もあり、出来の良い物と悪い物がありました。その中でも、スイカの出来が良く10個以上実を付けました。憩いの丘の利用者の皆さんが、水やりや畑の手入りを頑張った賜物です。皆さんで美味しく頂きました。また、収穫した野菜は、地域食堂ア・ターブルでも使用しています。今年度、残念ながら失敗した野菜は、来年再挑戦したいと思います。



●あすなろより

～野外焼肉～



8月19日に緑化敷地内で野外焼肉を行いました。焼き鳥や焼きそば、ひやむぎ、アイスクリームもあり、ボリュームのある内容で皆さん満足していました。食事後はビンゴゲームを行い、景品を受け取ると皆さん嬉しそうでした。短い時間でしたが、屋外で美味しい食事やゲームをして気分転換になりました。



いちばんぼしより

～野外焼肉～

7月13日に友愛の里敷地内にて野外焼肉行事を行いました。午前中に下請けの作業を行い、午後より実施をしています。木曜日は、比較的納品量が少ない日ですが、いつもなら午後からも作業を行う所、午前中に終了する事が出来ました。行事があるという事で、気合が入ったのでしょうか。当日は、時々小雨が降るあいにくの天候で、外で食事をする事は出来ませんが、皆さん楽しみにしていた行事でもあるため、コロナウイルス感染防止を行いながら密にならない様、喚起を行い実施しました。





新型コロナが5類となり行動制限が解除された中、地域生活者も少しずつ通常の生活スタイルに戻りつつあります。その中でも、10月29日に町内のボランティア団体のすみれ会さんからのカレーライスの食事提供招待は久しぶりの外食であり、楽しみもありました。昨年も食事会の招待を受けていましたが、利用者が突然コロナ感染してしまい、急遽配達という形でカレーライスをごちそうになりました。

今回、実質5年ぶりの会食は皆さんとても楽しみにしていた様子です。一度に全員が集まることはできなかったのですが、ボランティアの方との交流を楽しみにしていました。また、他のGHの方とも久しぶりに会えたと話している利用者もいました。楽しい時間とお食事の提供に感謝しています。参加した利用者の皆さんも「久しぶりで楽しかった。美味しかった。また来年も食べたいね。」と話していました。

お悔やみ申し上げます

令和5年8月22日

清水友愛の里で30年間生活され、入院生活を送られていた上山正子さんがお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。(享年55歳)



★ゆうあいフェスティバル2023★

9月30日、友愛の里グラウンドにてゆうあいフェスティバル2023を開催しました。4年ぶりの開催となるフェスティバルは規模を縮小しての実施となりましたが、その分、普段会うことの少ない利用者との関り、保護者との時間もゆっくりと取ることが出来たのではないかと思います。当日の準備などに携わって頂いた沢山の方々、ありがとうございました。また来年度もみなさんの笑顔が溢れるフェスティバルが開催出来たら幸いです。



■スポーツ交流会

8月30日、北海道知的障がい福祉協会が主催するスポーツ交流会に参加しました。苫小牧糸井の森パークゴルフ場にてパークゴルフ大会が開催され、友愛の里から4名参加しました。スコア集計後の結果発表ではなんと、4名中3名が個人賞優勝、準優勝、ブービー賞を獲得しました！授賞式での拍手喝采、景品授与に大喜びでした。



■みんなあーと



9月16日、北海道知的障がい福祉協会が主催する北海道知的障がい者芸術祭みんなあーと2023に参加しました。ステージ部門では琴クラブ風雅として参加し、札幌市かでのアスビックホールで稽古の成果を披露しました。展示部門では日中活動中に毎日コツコツと作成した貼り絵を応募しました。ステージ部門では奨励賞、展示部門では入選という嬉しい結果となりました。

■手をつなぐ育成会



小樽市民センターにて



8月6日、第68回北海道手をつなぐ育成会全道大会小樽大会が開催されました。参加して頂いた保護者の方々ありがとうございました。

浅利 正人さん

7月1日に緑化の仕事に入りました。花を見るのも、育てることも好きでこの仕事を選びました。みんなと仲良くして、仕事を頑張っていきます。

■新利用者紹介

野口 秋子さん

7月1日より、デイセンターいちばんぼしに通所しています。趣味は、音楽を聞くことで、特に「嵐」の曲が好きです。いちばんぼしでは、ホテルなどの館内着をたたむ作業をしています。今はズボンを綺麗にたためるように頑張っています。早く上着もたためるようになりたいと思っています。



■新職員紹介

斉藤 悟志 (デイセンターあすなろ 9月1日付)

9月1日からあすなろ緑化事業班に勤めることになりました斉藤悟志です。出身の北海道から岐阜県に移り住んで、約18年過ごしており、久しぶりの北海道暮らしで懐かしさも有りますが、雪の降らない地域で長年居たので冬の防寒準備で戸惑いを感じて過ごしています。利用者さん相手の仕事は初めてで、わからない事が多く失敗もありますが、経験を積んで皆さんから少しでも頼られるよう頑張ります。

★★★シュトーレンの販売が始まります★★★

11月下旬より『シュトーレン』の販売を開始します。数量限定ですので、無くなり次第終了となります。あすなろのシュトーレンは、地元産のルバーブを自家製ドライフルーツに加工して入れていることが特徴となっており、他にはない一品となっています。地方発送もできますので、大切な方への贈り物にも最適です。クリスマス時期にしか味わえない『あすなろオリジナルシュトーレン』をぜひご賞味下さい。



お問い合わせ・ご予約は(74-3988)デイセンターあすなろまでお願いいたします。

● 寄付金・寄付物品 令和5年8月から10月まで ●

8月度 【寄付物品】

株式会社ゴウダ 様	洞爺湖町
高岡 信夫 様	豊浦町
木村 聖子 様	札幌市
中森 静子 様	室蘭市
田中 浩幸 様	登別市

8月度 【寄付金】

赤間 智洋子 様	伊達市
----------	-----

9月度 【寄付物品】

毛利 納 様	洞爺湖町
アオバ薬局 様	洞爺湖町
洞爺湖町 様	洞爺湖町
洞爺湖町議会 様	洞爺湖町
洞爺湖町社会福祉協議会 様	洞爺湖町

洞爺ライオンズクラブ 様

洞爺湖町

9月度 【寄付金】

ホッコー建設運輸株式会社 様

洞爺湖町

清水自治会 様 洞爺湖町

三上 和彦 様 洞爺湖町

住吉 栄治 様 洞爺湖町

あぶた福祉会家族の会 様

洞爺湖町

小野 七三夫 様 伊達市

10月度 【寄付物品】

庄子電気管理事務所 様 洞爺湖町

善意のご寄付
ありがとうございました

編集後記

気付けば師走となり、慌ただしい日々が続きますね。寒さが染みる季節になったかと思えば、降った雪はすぐに溶けてしまい、冬景色になるのはまだ先になりそうです。

今年の下半期は例年を超える猛暑に見舞われ、友愛の里でも暑さとの戦いでした。日中活動や週末レクの中で中庭にプールを設置し、水鉄砲を掛け合ったり、手足をつけて涼みました。水分補給時にかき氷も沢山食べましたが、「今日はイチゴ味にする」「いろいろ混ぜてみる！」など楽しませていました。地域の利用者は通勤や国道の花壇整備など大変だったかと思います。私自身も暑い中、汗を流しながら海に出向くことが多かったのですが、今年もまた今まで北海道では釣れることのなかった魚が大量に釣れるという異常気象でした。

さてこれから年末に向けてクリスマス会や年末年始など、楽しみにしている行事や催しごとの時期となりますが、みなさんどのような思いでとなるのでしょうか。それぞれに大切な人との時間を過ごし、新たな1年の始まりとなることを願っています。よいお年をお迎えください。

(W・C)